

DJ-P221 その他の機能

●デュアルオペレーションモード

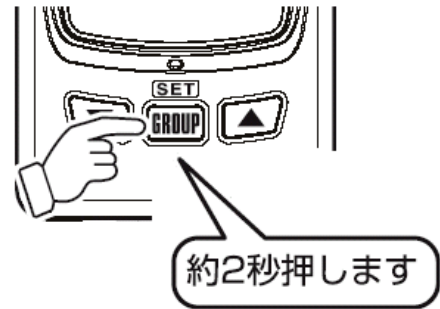
メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。

あらかじめサブ側をメモリー登録しておく必要があります。

①サブ側をメモリー登録する

サブ側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)表示中に【GROUP】キーを約2秒押します。

→「b writE」と表示され、サブ側にメモリー登録されます。



注) サブ側をメモリー登録する際は、セットモードのEmG項目(緊急通報機能)はOFFにしておいてください。登録後は緊急警報機能を使うことができます。但し、チャンネルの状態にかかわらず緊急通報は常にメイン側で発報されます。

②メイン側を設定する

メイン側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)を合わせ、【PTT】キーを1回押します。

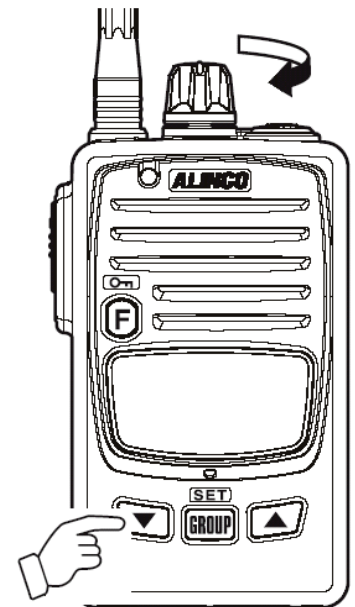
③電源を切る

④デュアルオペレーションモードにする

【▼】キーを押しながら電源を入れます。

→「dUAL」と表示され、メイン側を「A」、サブ側を「b」として交互受信がスタートします。信号を受信すると交互受信が停止し通話することができます。

注) メイン側/サブ側が同じチャンネルの場合、「E」表示が点滅しデュアルオペレーションは動作しません。



⑤送信する

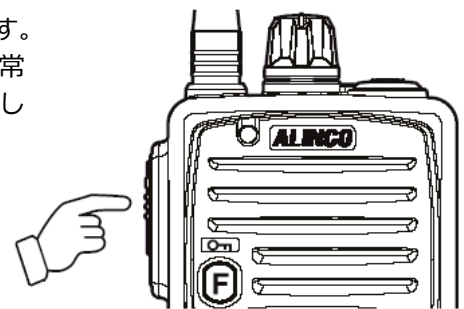
【PTT】キー一度押しでメイン側、二度押しでサブ側を送信します。デュアルモード運用中は、PTTを押してから送信されるまで、通常時よりも時間が掛かります。PTTを押してから、一呼吸置いて話し始めてください。

→通話が終了し約5秒経過で交互受信を再開します。

⑥デュアルオペレーションモードを終了する

電源を入れ直します。

メモ) 電源を入れ直してもデュアルオペレーションモードで起動させるにはキーロック(【F】キー約2秒押し)をかけておきます。



●リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルやトーン等を遠隔設定できます。

対応中継器：DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R、DJ-P113R、DJ-P114R、DJ-P115R、DJ-P116R、DJ-U3R、
DJ-R200D（生産を終了した機種も記載しています）

①中継器の電源を切る

AC アダプターのプラグをコンセントから抜いて電源を切ります。

注) 中継器の内部にある設定スイッチが全て下側になっていないと、リモコンによる設定変更はできません。（内部スイッチの設定が優先されます）

もし、リモコンで設定が変わらないときは、内部スイッチの位置を確認してください。

②リモコンモードにする

【▲】キーを押しながら電源を入れます。

→「rEnCon」と表示されたあと「r」が点滅します。

③転送する内容（チャンネル、トーン番号など）を設定する （リモコンモードにすると自動的に中継通話用のチャンネルになります。）

④転送する

【PTT】キーを約2秒押します。

→「ピピッ」音が鳴り、中継器への転送がスタートします。
転送中は「SEnd」が表示されます。

⑤中継器の電源を入れる

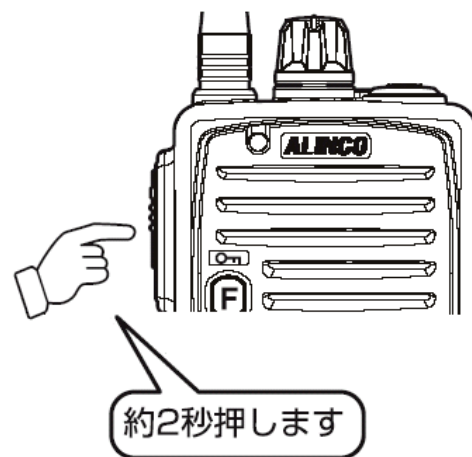
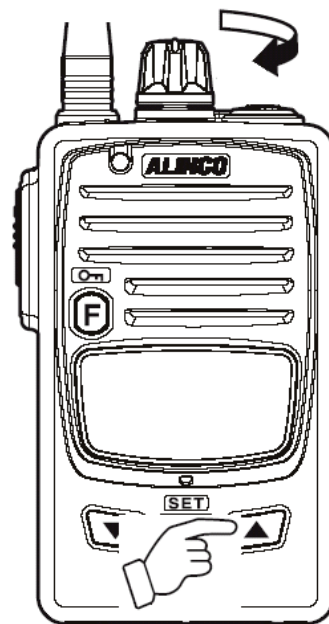
中継器にACアダプターを接続します。（中継器の取扱説明書をご参照ください。）

→数秒後、転送が完了すると「ooooo」が表示され、
本機から「ブルル」音が鳴ります。

メモ) 転送完了後、自動的に再起動して20秒間初期化した後、中継器として動作します。

⑥本機の電源を入れ直す

交互中継通信モードに戻ります。子機を用意し、中継器が動作することを確認してください。



[その他の機能を転送する場合]

必要に応じて、自動接続手順、ハングアップタイマー、アラーム、ノイズキャンセラーの設定を転送することもできます。これらの機能説明については、中継器の取扱説明書をご参照ください。

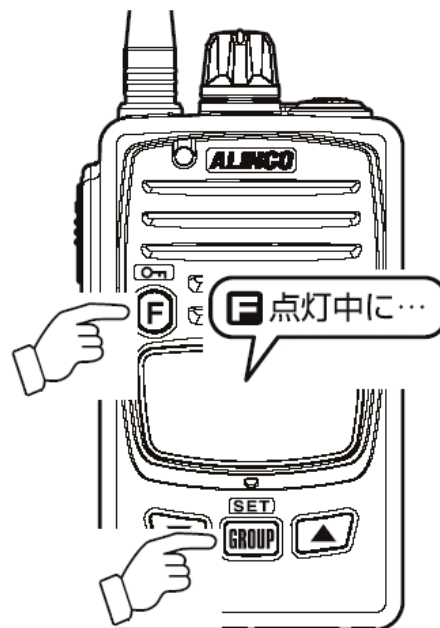
①セットモードにする（リモコンモード起動中）

【F】キーを押しながら【GROUP】キーを押します。

→ 「At-on」が表示されます。

【GROUP】キーを押すごとに項目が切り替わります。

「At-on」→「HuP-00」→「AL-oF」→「niS-oF」



・自動接続手順「At」の設定

初期状態は ON に設定されています。

中継器側を OFF にする場合、本機の設定も OFF にしてください。

・ハングアップタイマー「HuP」の設定

初期状態は 00(0 秒)に設定されています。

0 秒/0.5 秒/1.0 秒/2.0 秒から選択します。

設定値だけ中継動作を継続します。

・アラーム機能「AL」の設定

初期状態は OFF に設定されています。

ON にすると中継動作の終了を音でお知らせします。

・ノイズキャンセラー「niS」の設定

初期状態は OFF に設定されています。

ON にするとノイズキャンセラーを有効にします。

※ノイズキャンセラー対応中継器に対してのみ有効です。

非対応機に ON 設定をリモコン転送しても、本機能は動作しません。

【重要】 中継器のノイズキャンセラーを ON にしたときは、子機のコンパクターなど特定の機能の設定を OFF にしないと正常に動作しません。必ず中継器の取扱説明書の「ノイズキャンセラー」の項目をご参照のうえ、子機の設定にもご留意ください。

※本設定が可能な DJ-P221 は、下記の品番が本機背面の定格ラベルに印刷されています。

A や K が付かないものはノイズキャンセラーには非対応です。

対応品番 : DJ-P221LA / DJ-P221MA / DJ-P221LK / DJ-P221MK

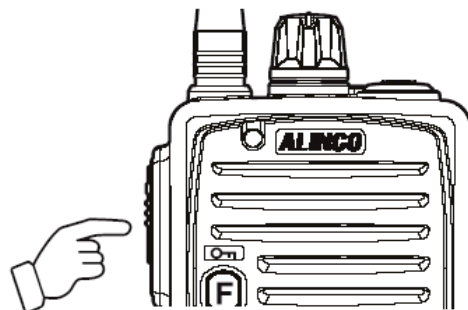


定格拉ベル例

ここが LA/MA/LK/MK の場合のみ設定できます。

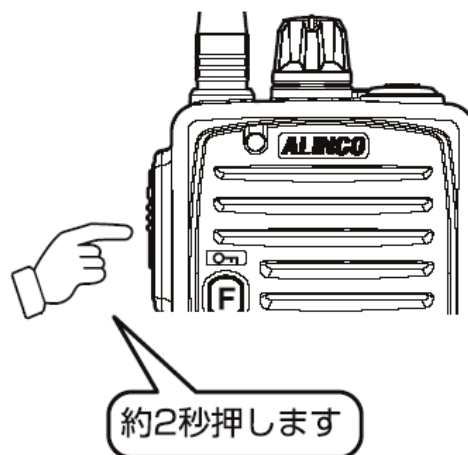
②▲/▼キーを押して ON/OFF や設定値を変更します。

③【PTT】キーを押して設定を完了する



④転送する

【PTT】キーを約 2 秒押します。
→「ピピッ」音が鳴り、中継器への転送がスタートします。
転送中は「SEnd」が表示されます。



⑤中継器の電源を入れる

中継器に AC アダプターを接続します。(中継器の取扱説明書
をご参照ください。)

→数秒後、転送が完了すると「ooooo」が表示され、
本機から「ブルル」音が鳴ります。

メモ) 転送完了後、自動的に再起動して 20 秒間初期化した後、中継器として動作します。

⑥本機の電源を入れ直す

交互中継通話モードに戻り、設定した中継器を介して通話できます。
子機を用意し、中継器が動作することを確認してください。

以上

PW0014